

Poster Presentation

## [PS01] ポスター発表(学生 A:コアタイム1)

Fri. Mar 29, 2024 11:30 AM - 12:30 PM Sakura (Student) (Sakura)

### [PS01-45]フキバツタ類における交尾姿勢と生殖器形態の左右性の検討

○Momoka Murata<sup>1</sup>, Naoyuki Fujiyama<sup>1</sup> (1. Yamagata Univ.)

多くのバツタ類では、雄が雌にマウントし雌の体軸の左右いずれかから腹部をアプローチさせて交尾器を接合させるが、左右両方向での交尾が可能であるとされている。しかし、これまでに、イナゴ類は右方向でのみ交尾する“右利き”であることが明らかになっている。本研究では、イナゴ類で生じている“右利き”交尾の起源を検討するために、姉妹群にあたるフキバツタ類の4種(ヤマトフキバツタ、ミカドフキバツタ、ハネナガフキバツタ、アオフキバツタ)を対象とした野外観察・交尾実験・形態分析を行い、交尾姿勢および生殖器形態に左右性が生じているかを調査した。野外観察と交尾実験についてはヤマトフキバツタ以外では十分なデータを得られなかったものの、先行研究とあわせると、交尾姿勢はハネナガフキバツタで有意に右向き、ミカドフキバツタで右向きに偏る傾向がある一方、ヤマトフキバツタでは左右性は存在せず、アオフキバツタについても左右性は存在しない可能性が高いと考えられた。生殖器形態については、交尾囊の形態に3種で左右二型性、1種で多型性が確認され、各型の比率は種ごとに異なっていた。交尾姿勢と生殖器形態にみられる左右性の間に因果関係があるのかを考察する。